OUTLINE of Shizuoka University Library

静岡大学附属図書館概要

本　館

浜松分館

2019

はじめに

附属図書館長
澤田　均

静岡大学は今年６月に創立70周年を迎えました。附属図書館は、静岡本館と浜松分館の２館体制で本学両キャンパスの教育研究を支えております。附属図書館の使命に明記しましたように、４つの領域（学術情報資源整備、学習支援、研究支援、社会連携）で積極的に機能することを目標にしています。この目標を達成するために、様々な事業を実施しておりますが、この『静岡大学附属図書館概要2019』は、その事業内容と附属図書館の現状を分かりやすくまとめたものです。

平成30年度、附属図書館では主に、①浜松分館の整備を進め、リニューアルオープン後の学生の多様な学びを支援すること、②学術リポジトリについて、教員への周知活動を継続するとともに、リポジトリシステムの利便性向上を図ることを計画・実施いたしました。このうち、浜松分館は６月末に無事オープンを果たし、アクティブラーニングエリアに静寂な空間が加わり、異なる機能を効果的に活用しうる環境が整いました。さらなる有効活用を目指し、利用動向の把握に努めているところです。一方、学術リポジトリについては総登録件数が１万件を超え、11,292件（３月31日現在）に達しました。今後、リポジトリサイトの英文化を進める計画です。

さて、電子リソースと効果的な広報は、多くの大学図書館が苦慮している問題です。本学でも、今後の電子リソースの整備について検討中ですが、安定的確保は難しい問題です。一方、広報面の改善では、附属図書館ホームページをリニューアルいたしました。若手館員の努力が実を結び、明るく便利でスマートフォンでも見やすくなりました。ぜひご覧ください。

最後に、附属図書館では平成31年３月に自己評価書をとりまとめ、先日、外部評価を受けました。外部評価委員の皆様から頂戴したご提言、問題提起を真摯に受け止め、今後の活動の改善に役立てていく所存です。今後とも、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年７月

目　次

図書館長挨拶	1
静岡大学附属図書館のいま（平成30年度活動状況）	2
館内案内	3
電子資料等	7
主要コレクション、刊行物等	8
資料統計	10
学術リポジトリ	11
利用統計	12
組織機構	13
沿革	14
交通案内／図書館位置図	17
浜松分館長挨拶	19

静岡大学附属図書館のいま　～平成30年度活動状況～

静岡大学附属図書館の使命

静岡大学附属図書館は、静岡大学の使命を支える学術情報基盤として、「***Tolle lege*（手に取って読みなさい）**」の精神のもと、積極的に機能することを目指します。

学術情報資源整備	学　習　支　援	研　究　支　援	社　会　連　携
大学改革、教育・学習・研究のニーズに合った資料を選定し、収集・整理・保存・提供します。蔵書や電子リソース等の利用促進および蔵書スペースの有効利用に努めます。	学生の能動的学習を含めた学習全般を支援するため、館内の学習環境の整備に努めるとともに、学内教員・組織、他大学図書館と協力して情報リテラシー教育を推進します。	本学学術リポジトリを充実させ、学内研究者の研究成果を保存するとともに世界に発信します。また、研究に必要な文献や情報の提供に努めます。	地域社会との交流や国内外の組織との協力を積極的に進め、知の交流点として社会に貢献します。図書館の活動を社会に発信します。

学術情報資源整備

◆電子リソースの整備

電子リソース検討委員会、企画戦略会議において平成30・31年度の電子リソース（電子ジャーナル・データベース）購入方針を審議・決定し、学術情報基盤の整備を図りました。

研究支援

◆JAIRO Cloud へ移行

静岡大学学術リポジトリ（SURE）を、国立情報学研究所共用リポジトリサービス（JAIRO Cloud）へ平成30年１月に移行し、利用者の利便性及び管理面での機能向上を図りました。

社会連携

◆静大フェスタで
図書館ツアー・しおり作り開催

キャンパスフェスタin静岡において、「図書館の奥まで探検ツアー」を実施。図書館職員が書庫を案内し、旧制高等学校や師範学校の時代から積み重ねられたコレクションを紹介しました。

また、テクノフェスタin浜松において、学生モニターが企画した「しおり作り」を開催。幅広い年齢の方が参加され好評でした。あわせて学生モニターが浜松分館所蔵の図書の紹介を行いました。

学習支援

◆図書館利用セミナーの実施等

図書館利用セミナー（授業単元100回）や、英語による講習会を含むデータベース等セミナー（10回）など計117回実施し、のべ3,176名が参加しました。

学生協働の推進

附属図書館利用学生モニターとして、本館９名、浜松分館13名の学生が、附属図書館職員と協働し、書店に出向いての選書、POP作成、選書した本の展示、七夕笹飾り（浜松分館）、福袋企画（本館）等、様々な活動を行いました。また、モニター会議では、学生視点の多くの意見が出されました。

福袋企画（本館）

図書館ツアー（本館）

七夕笹飾り（浜松分館）

しおり作りの様子
（浜松分館）

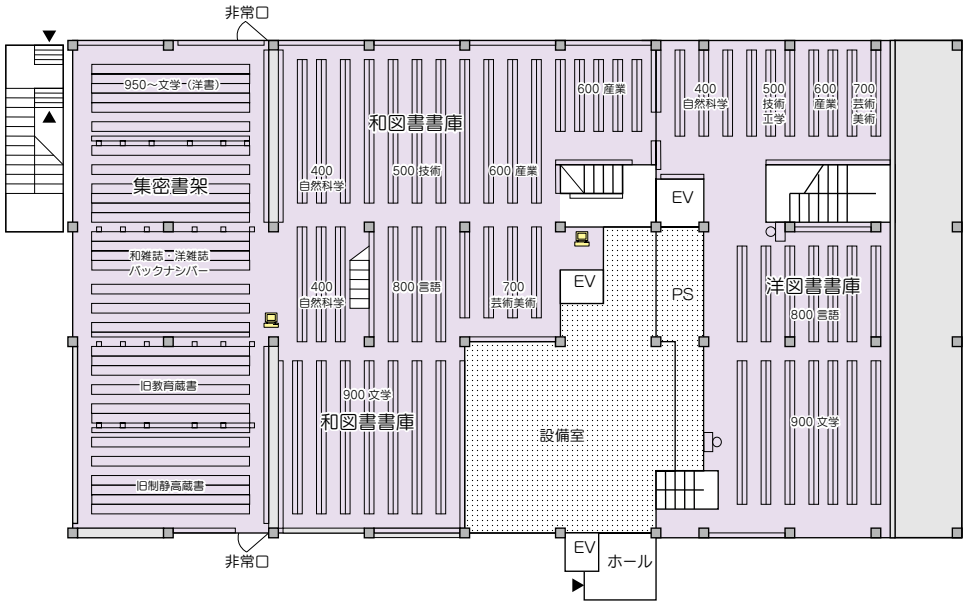
選書した本の展示（本館）

館内案内

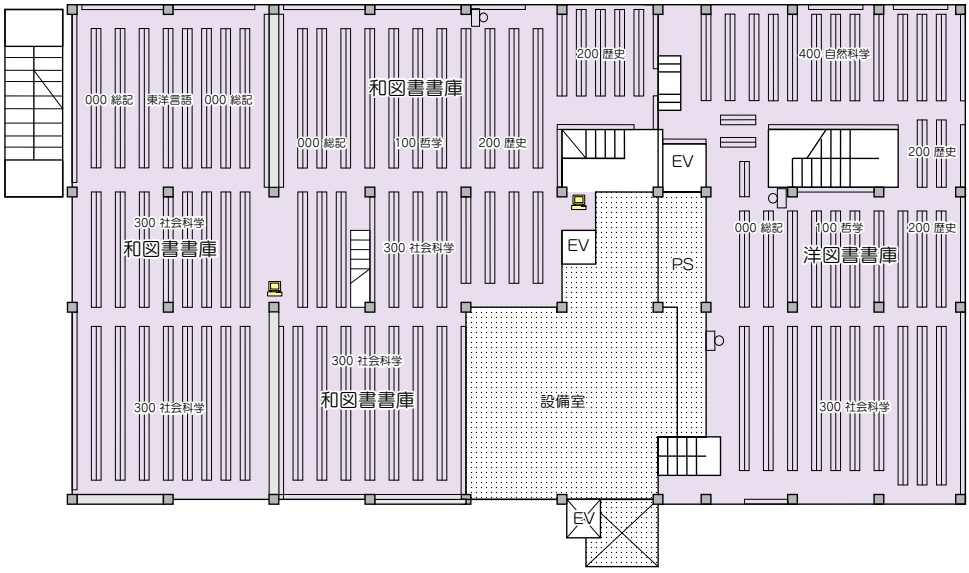
1. 平面図

◆本館

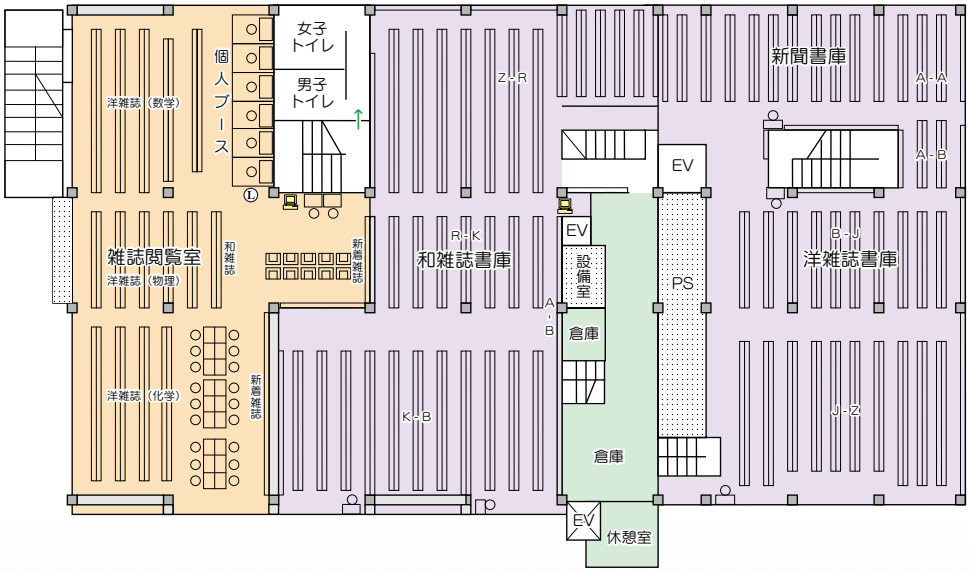
1階



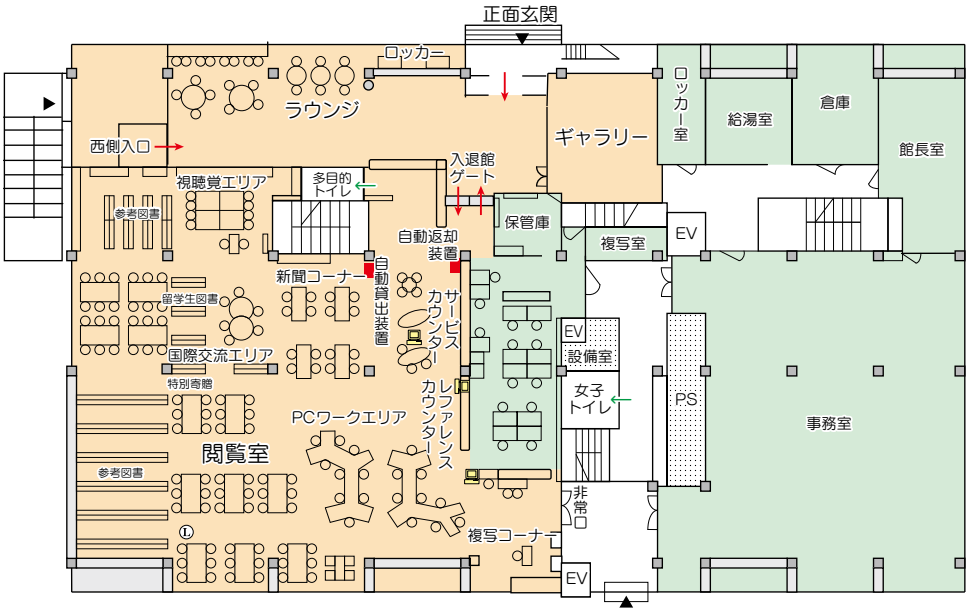
2階



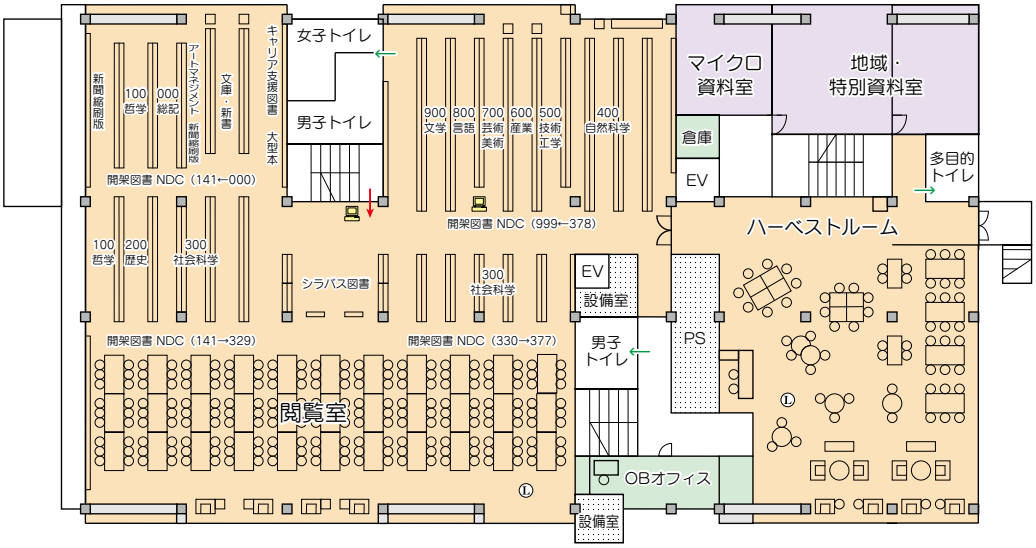
3階



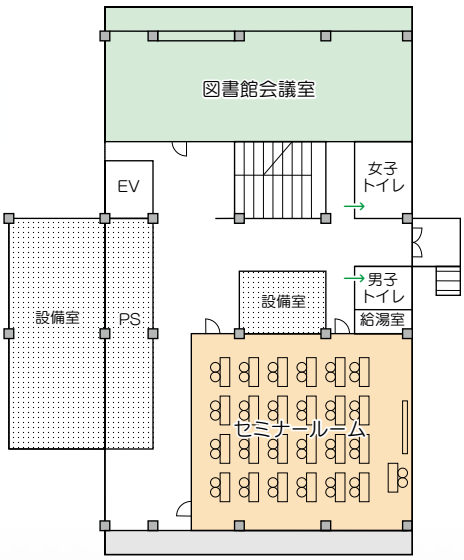
4 階



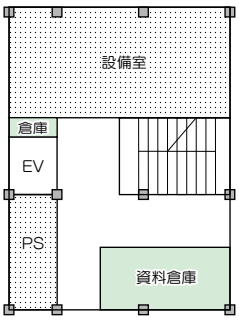
5 階



6 階



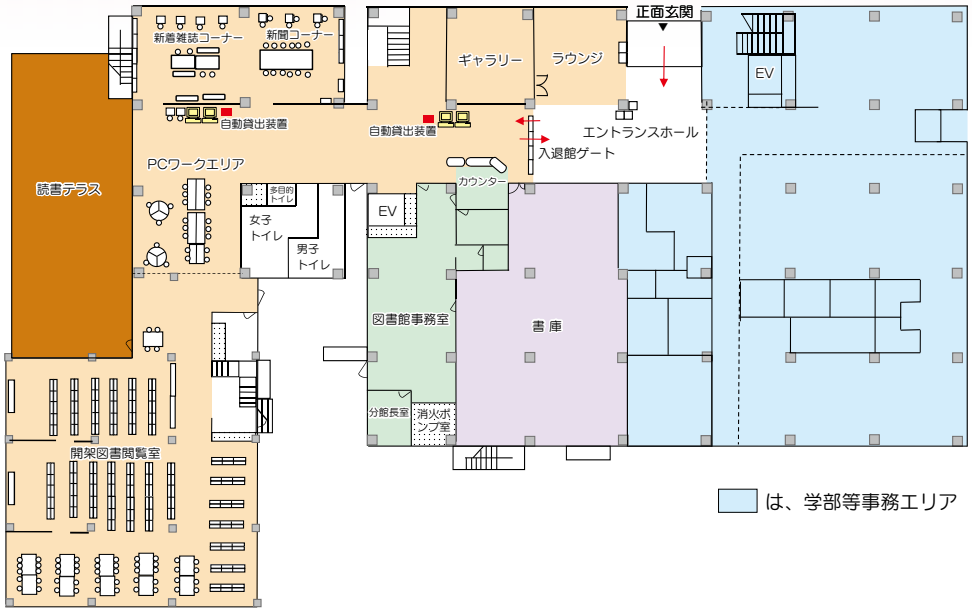
7 階



書庫エリア
閲覧エリア
事務エリア
検索用パソコン
Ⓛ 情報コンセント

◆ 浜松分館

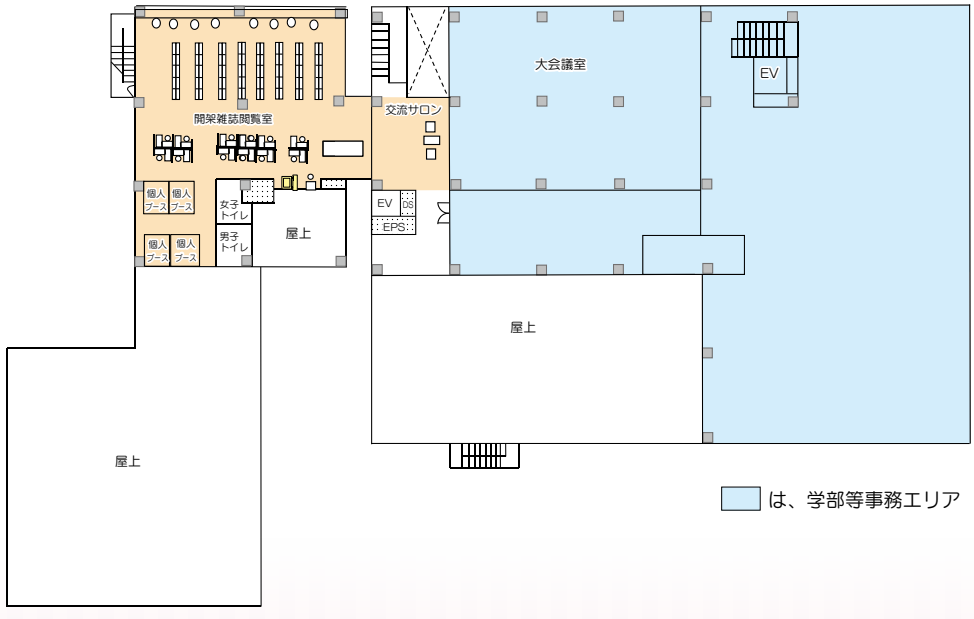
1 階


新着雑誌コーナー
新聞コーナー
自動貸出装置
自動貸出装置
ギャラリー
ラウンジ
正面玄関
EV
エントランスホール
入退館ゲート
PCワークエリア
カウンター
読書テラス
多目的トイレ
女子トイレ
男子トイレ
EV
図書館事務室
書 庫
分館長室
消火ポンプ室
開架図書閲覧室
は、学部等事務エリア

2 階

学習エリア
グループ学習室
グループ学習室
パーソナルワークエリア
地域産業史エリア
EV
Liブース
多文化交流エリア
グループワークエリア
女子トイレ
男子トイレ
EV
TA控室
男子トイレ
多目的トイレ
倉庫
女子トイレ
書 庫
セミナールーム
CALL教室
Graduates' Hub
倉庫
開架図書閲覧室

3 階


開架雑誌閲覧室
大会議室
交流サロン
EV
個人ブース
個人ブース
女子トイレ
屋上
個人ブース
個人ブース
男子トイレ
EV
DS
EPS
屋上
屋上
は、学部等事務エリア

2. 主要室面積及び座席数

	階　数	室　名	面　積	座席数	備　考
本館	1階 1,380㎡	書庫 その他	1,054㎡ 326	2席	一部集密書架
	2階 1,305㎡	書庫 その他	1,192 113	3	
	3階 1,495㎡	書庫 雑誌閲覧室 個人ブース 印刷室等 その他	839 334 24 57 241	6 28 6	開架雑誌
	4階 1,533㎡	開架閲覧室 ラウンジ 複写室 サービスカウンタ ギャラリー 館長室 事務室 その他	546 103 13 84 44 49 382 312	126 30 20	参考図書、新聞コーナー、PCワークエリア、視聴覚エリア、国際交流エリア
	5階 1,503㎡	開架閲覧室 ハーベストルーム（第2閲覧室） 地域・特別資料室 マイクロ資料室 その他	821 244 95 30 313	202 68 1 2	開架図書
	6階 563㎡	図書館会議室 セミナールーム その他	119 125 319	48	
	7階 248㎡	書類庫等 その他	43 205		
	本館合計		8,027㎡	542席	書架延長　27,130m 収容可能冊数　753,625冊
浜松分館	1階 1,710㎡	エントランス・ラウンジ ギャラリー 図書館事務室 分館長室 書庫 新聞コーナー・新着雑誌コーナー PCワークエリア 開架図書閲覧室 その他	164㎡ 54 107 18 258 128 191 453 337	 38席 24 52	 集密書架 開架図書、文庫、新書
	2階 2,461㎡	グループワークエリア セミナールーム・CALL教室 書庫 グループ学習室 学習エリア 開架図書閲覧室 その他	958 145 354 61 267 464 212	225 52 20 40 53	パーソナルワークエリア、地域産業史エリア、多文化交流エリア、視聴覚エリア、Graduates' Hub 集密書架 参考図書、大型本 開架図書
	3階 511㎡	交流サロン 開架雑誌閲覧室・個人ブース その他	83 304 124	2 25	 開架雑誌
	浜松分館 合　計		4,682㎡	531席	書架延長　12,709m 収容可能冊数　353,027冊
	合　計		12,709㎡	1,065席	書架延長　39,839m 収容可能冊数　1,106,652冊

3. 電子資料等

○主な電子ジャーナル

- Science Direct（エルゼビア社）※フリーダムコレクション契約
  利用タイトル数 約2,300（バックファイルは概ね1998年から利用可能）
- Wiley Online Library（ワイリー・ブラックウェル社）
  利用タイトル数 約1,400（バックファイルは概ね1997年から利用可能）
- Springer Link（シュプリンガー・ネイチャー社）
  利用タイトル数 約1,700（バックファイル契約誌は創刊号から、その他は2000年から利用可能）
- American Chemical Society Full Package（アメリカ化学会）
  利用タイトル数 56
- nature（本誌は1987年から、Nature Digestは2007年から利用可能
- Science　1880年～
- JSTOR Arts & Sciences I Archive Collection（経済学、歴史学、政治学、社会学、言語学、教育学など人文社会科学系のほか、環境学、数学、統計学　計115誌のアーカイブ）

○電子ブック

- Cambridge Core（購入タイトル155件）
- EBSCOhost eBook Collection（購入タイトル150件）
- Emerald Insight（購入タイトル91件）
- Infobase Publishing eBooks（購入タイトル246件）
- KinoDen（購入タイトル50件）
- Maruzen eBook Library（購入タイトル928件）
- ProQuest Ebook Central（購入タイトル27件）
- ScienceDirect（購入タイトル77件）
  ＊この他に購読モデルのMethods in Enzymology（82件）がある
- Springer Link eBooks（購入タイトル7,107件）
- Wiley Online Library（購入タイトル35件）

○主なデータベース

- CiNii（論文や図書・雑誌などの学術情報検索データベース）
- Web of Science（全分野における主要な学術雑誌の論文情報・引用関係データベース）
- Journal Citation Reports（主要学術雑誌評価データベース）
- MathSciNet（数学関係文献データベース）
- SciFinder（化学関係文献データベース）
- PsycINFO（心理学関係文献データベース）
- Lexis Advance（国外法律情報文献データベース）
- LEX／DBほか（国内判例関係文献データベース）
- LLI統合型法律情報システム〈地域法実務実践センターおよび図書館のみ〉
- 聞蔵（キクゾウ）Ⅱビジュアル（朝日新聞記事データベース）
- ヨミダス歴史館（読売新聞記事データベース）
- 静岡新聞データベースplus日経テレコン（静岡新聞及び日本経済新聞記事データベース）
- 官報情報検索サービス（官報の電子版）
- JapanKnowledge Lib（「日本大百科全書」などの事典・辞書横断検索データベース）
- 日経BP記事検索サービス（日経BP社雑誌記事検索）
- 化学書資料館（日本化学会編集の図書全文検索および化合物検索データベース）
- JSA Library Server（JISの電子版）〈浜松キャンパスのみ〉

主要コレクション

1. 大型コレクション

文　庫　名	内　　容	設　置　年
◆国際連盟刊行物資料	第一次大戦後設立された国際連盟は、国連の前身をさすもので、本館所蔵文書数は3,571点あり、公式記録、経済、金融、社会、法、委任統治、奴隷取締、政治、運輸交通、軍縮、財政、麻薬取締、文化協力、連盟事務局、一般、レファレンスの16部門に分類され、特に連盟総会の公式記録がほぼ揃っている。政治、経済、社会、教育等の戦間期研究にとって、この資料は不可欠であるとともにこれらの文書は、国立国会図書館が所蔵する連盟資料と相互補完をなしており、貴重な資料である。	昭和54年度
◆原家旧蔵江戸後期芸文資料	静岡県駿東郡大平村（現沼津市）の旧家、原家に代々伝来された資料を購入したものである。 この資料は江戸後期を中心に明治期にまで及ぶ全451点1,281冊からなり、俳諧書を中心に、歌書、戯作類、絵画、地誌、仏教書、国学関係書、そして自然科学書をも含む、広い範囲にわたる貴重なコレクションである。日本文学、日本歴史の研究者をはじめ、多方面の研究者の利用が期待される。冊子目録「原家旧蔵江戸後期芸文資料目録」を作成。	昭和61年度
◆近現代ドイツ資料コレクション	1-1. Statistik des Deutschen Reichs (Neue Folge), Bd.l-601, 1884-1944. 1-2. Statistisches Jahrbuch deutscher Gemeinden, Bd.l-70, 1890-1983. 1-3. Preußische Jahrbucher, Bd.l-240, 1858-1935. 2-1. Acta Borussica:Denkmaler der preußischen Staatsverwaltung im 18. Jahrhundert, 1892-1936. 2-2. Jahresberichte der Gewerbe- Aufsichtsbeamten und Bergbehorden, 1876-1937/38. 2-3. Preußische Statistik, Bd.l-305, 1861-1933. 2-4. Schriften des Vereins fur Sozialpolitik (Alte Folge), Bd.l-188, 1873-1939. 3-1. Allgemeines Statistisches Archiv, Bd.l-55 1890-1967. 3-2. Jahrbuch fur Gesetzgebung, Verwaltung und Rechtspflege, Bd.l-4, 1871-1876. 3-3. Schmollers Jahrbuch fur Gesetzgebung, Verwaltung und Volkswirtschaft, Bd.l-68, 1877-1944. 3-4. Schriften des Vereins fur Sozialpolitik (Neue Folge), Bd.l-220, 1949-1993. 3-5. Zeischrift fur die gesamte Staatswissenschaft, Bd.l-85 1844-1985. 近現代ドイツの経済、政治、社会、文化を研究するための基礎資料であり、基本的な数量的データを得ることができる。 なお、下記２点が本学特別経費で購入され、所蔵されている。 1. Statistik des Deutschen Reichs (Alte Folge), Bd.l-63, 1873-1883. 2. Statistisches Jahrbuch fur das Deutsche Reich, Bd.l-59, 1880-1941/42.	昭和62年度、平成２年度及び平成５年度
◆Le Monde, Dec.1944-Dec.1983 (microfilm)	1944年にパリで創刊された世界的に高い評価を得ている新聞の代表格である。特定の政党や資本に左右されない自主独立の体制、卓越した解説と分析、冷静かつ公平な報道に由来するもので、国際情勢に関してかなりの重点が置かれている。	昭和59年度
◆Landolt-Bornstein Numerical Data [ランドルト・ベルンシュタイン定数表]	本定数表は、素粒子、原子核の分野から原子・分子、結晶などの構造や物性、溶液化学、工業化学、地球鉱物までを含む、科学・技術に関する膨大な実験データ集である。特に既刊行（1994年現在）のうち物性分野は充実している。	本館既蔵書分に平成７年度補強
◆欧米比較政治学基本資料集成	1. American Journal of Political Science.Vols. 1-39（1957-1995） 2. Comparative Political Studies.（C.P.S) Vols. 1-29（1968/69-1996） 3. Comparative Politics. Vols. 1-29（1968/69-1996/97） 4. European Journal of Political Research. Vols. 1-28（1973-1995） 5. Journal of Public Policy. Vols. 1-12（1981-1992） 6. Journal of Politics. Vols. 1-58（1939-1996） 7. World Politics. Vols. 1-49（1948/49-1995/96） 今日では古典となりつつある比較政治学上の画期的で重要な論文・寄稿・記事等を所収した主要誌を体系的に蒐集・集成したものである。	平成11年度

2. 特殊コレクション

文　庫　名	内　　容	設　置　年
◆河井文庫 明治、大正期の 新聞コレクション	自由民権期に刊行されたものでは、「静岡新聞」「静岡大務新聞」が断片的に収蔵されているほか、東京の「朝野新聞」を多く収蔵している。明治後期の「静岡新報」、明治後期から大正末期までの「静岡民友新聞」がこの文庫の圧巻である。さらに同じ時期の「報知新聞」「東京朝日新聞」「万朝報」「東京日々新聞」等の静岡版を有している。これらの新聞は地域研究には不可欠な資料である。「静岡民友新聞」と「静岡新報」はマイクロフィルム版を作成。冊子目録「河井家寄贈新聞目録」を作成。	掛川の河井家当主重友氏のご厚意により1957年に当館に寄贈

3. その他の主要コレクション

◆鈴木安蔵氏資料〔本学文理学部長を務めた憲法学者鈴木安蔵のスクラップブックなど〕
◆United States decennial census publications, 1790-1970 (microfilm)〔アメリカ国税調査報告書　第1～19回〕
◆All U.S. Department of Agriculture publications (microfiche)〔アメリカ農務省全出版物〕
◆Social and economic development plans, except for Africa (microfiche)〔世界各国の社会経済開発計画資料集〕
◆Aetas Kantiana (reprint ed.)〔カント時代哲学書復刻シリーズ〕

刊 行 物 等

1. 冊子体目録　※webでも公開しています。

河井家寄贈新聞目録	1975年
宇山文庫目録（英米文学関係資料）	1977年
大場秋雄氏寄贈エスペラント語関係資料目録	1977年
花岡文庫目録（主に民族学関係）	1977年
国際連盟刊行物資料目録　1920年～1946年	1980年
旧制静岡高等学校蔵書和漢書書名リスト	1982年
静岡地方裁判所掛川支部寄贈図書目録（明治期刊行法律書）	1986年
小此木文庫目録（政治史・国際政治関係）	1987年
原家旧蔵江戸後期芸文資料目録	1988年
坂藤英隆氏寄贈目録（中国語刊中国文学）	1988年
黒羽文庫目録（日本近代史関係資料）	1990年
手塚弘保文庫目録（ロシア語による人文科学関係資料）	1993年
河内清文庫目録（フランス自然主義文学関係資料）	1995年
白石信明文庫目録（法律関係専門図書）	1995年
田中敬一文庫寄贈図書目録（フランス文学）	2000年
小澤康彦文庫目録（英文学関係資料）	2001年
五井直弘文庫目録（東洋史関係資料）	2002年

2. 定期刊行物・その他

静岡大学附属図書館概要（年刊）	1979年～
図書館通信（年刊）	1970年～
としょかんニュース（随時）	1997年～2007年
静大図書館 NewsLetter（随時）	2007年～
利用のてびき（年刊）	1974年～2005年
Library Navigator（りぶ★なび）（年刊）	2006年～
附属図書館利用マニュアル（教員用）（年刊）	2002年～

資料統計

1. 受入数

平成30年度（平成31年３月31日現在）

区分	図書				雑誌			
	和書	洋書	計	前年度計	和雑誌	洋雑誌	計	前年度計
本館	6,548	637	7,185	8,680	1,187	185	1,372	1,325
浜松分館	2,326	237	2,563	2,677	283	26	309	332
合計	8,874	874	9,748	11,357	1,470	211	1,681	1,657

2. 蔵書数

平成30年度（平成31年３月31日現在）

区分	図書				雑誌			
	和書	洋書	計	前年度計	和雑誌	洋雑誌	計	前年度計
本館	654,706	251,551	906,257	907,474	11,621	4,592	16,213	16,272
浜松分館	200,686	98,587	299,273	297,268	2,346	1,913	4,259	4,221
合計	855,392	350,138	1,205,530	1,204,742	13,967	6,505	20,472	20,493

3. 視聴覚資料数

平成30年度（平成31年３月31日現在）

区分	マイクロフィルム	マイクロフィッシュ	ビデオテープ	CD-ROM	CD/LD	DVD	その他	計	前年度計
本館	3,899	623	161	113	369	882	206	6,253	6,054
浜松分館	169	0	439	139	177	724	24	1,672	1,697
合計	4,068	623	600	252	546	1,606	230	7,925	7,751

4. 分類別蔵書冊数

平成30年度（平成31年３月31日現在）

区分	本館			浜松分館			合計	前年度計
	和書	洋書	計	和書	洋書	計		
0 総記	54,345	9,007	63,352	15,651	4,286	19,937	83,289	81,538
1 哲学	34,643	19,801	54,444	10,543	1,112	11,655	66,099	67,335
2 歴史	82,396	12,932	95,328	8,840	589	9,429	104,757	103,183
3 社会科学	209,208	72,966	282,174	27,670	877	28,547	310,721	312,662
4 自然科学	76,224	60,105	136,329	51,324	52,552	103,876	240,205	238,943
5 技術	33,945	5,145	39,090	56,702	31,043	87,745	126,835	126,027
6 産業	41,710	8,051	49,761	2,874	160	3,034	52,795	53,232
7 芸術	28,325	4,566	32,891	6,245	425	6,670	39,561	39,344
8 語学	25,302	16,140	41,442	9,291	3,872	13,163	54,605	53,392
9 文学	68,608	42,838	111,446	11,546	3,671	15,217	126,663	126,058
合計	654,706	251,551	906,257	200,686	98,587	299,273	1,205,530	1,201,714

5. 図書館経費

◇平成30年度 運営関係経費　　45,436千円　（前年度　66,756千円）
◇平成30年度 図書館備付資料費　　151,655千円　（前年度　144,485千円）
◇平成30年度 その他の経費　　19,642千円　（前年度　9,364千円）

学術リポジトリ

1．資源タイプ別コンテンツ数

（平成31年３月31日現在）

区　　分	日本語	外国語	計	前年度末計
Journal Article（学術雑誌論文）	1,403	1,292	2,695	2,557
Thesis or Dissertation（学位論文）	429	236	665	612
Departmental Bulletin Paper（紀要論文）	5,731	228	5,959	4,909
Conference Paper（会議発表論文）	63	18	81	66
Presentation（会議発表用資料）	16	0	16	4
Book（図書）	56	17	73	67
Technical Report（テクニカルレポート）	293	0	293	253
Research Paper（研究報告書）	1,041	9	1,050	919
Article（一般雑誌記事）	35	0	35	35
Preprint（プレプリント）	0	1	1	1
Learning Material（教材）	12	4	16	12
Data or Dataset（データ・データベース）	3	1	4	3
Software（ソフトウェア）	0	0	0	0
Others（その他）	343	61	404	404
合　　計	9,425	1,867	11,292	9,842

静岡大学紀要は静岡大学学術リポジトリでご覧いただけます

静岡大学学術リポジトリでは、静岡大学の教育研究活動により創出された学術成果等を後世に継承するため収集・保存し、さらに学術研究の発展に貢献するため、学内外に発信・提供しています。

その一環として、大学内刊行物の公開も重点的に行っており、現在刊行中の静岡大学紀要全タイトルの約７割は、原則的に全掲載論文をリポジトリで公開中です。それ以外の紀要も、個別に許諾を得た論文について、公開を行なっています。

公開している論文は、検索エンジンやCiNii Articlesで検索可能です。

利 用 統 計

1．開館日数等

（平成30年度）　　（単位：日）　　（単位：時間）

区　　分	年間開館日数			年間時間外開館時間数		
	平日	土／日・祝	総日数	平日	土／日・祝	総時間数
本　　館	230	107	337	880	925	1,805
浜松分館	230	105	335	866	929	1,795

2．入館者数

※平成25、26年度及び平成29年度は、浜松分館改築工事（Ⅰ期、Ⅱ期）による閉館等の影響有り

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
本　　館	251,986	239,268	230,324	214,806	210,775	194,627
浜松分館	149,078	171,368	221,162	218,616	177,194	209,482
合　　計	401,064	410,636	451,486	433,422	387,969	404,109

3．館外貸出冊数

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
教員	本　　館	4,942	4,872	4,891	5,013	6,614	6,412
	浜松分館	1,750	1,619	1,710	1,034	1,207	1,760
学生	本　　館	49,372	51,320	47,290	48,206	48,337	44,388
	浜松分館	22,906	27,487	29,059	23,898	20,819	25,249
一般市民	本　　館	1,095	972	1,020	836	1,077	994
	浜松分館	1,153	1,263	1,142	577	530	689
本　館　計		55,409	57,164	53,201	54,055	56,028	51,794
浜松分館　計		25,809	30,369	31,911	25,509	22,556	27,698
総　　計		81,218	87,533	85,112	79,564	78,584	79,492

4．ILL（図書館間相互協力）文献複写件数

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
受託	本　　館	2,260	1,979	1,520	1,519	1,340	1,308
	浜松分館	365	318	370	371	446	380
受　託　計		2,625	2,297	1,890	1,890	1,786	1,688
依頼	本　　館	2,301	2,305	1,906	1,482	1,514	1,264
	浜松分館	506	487	366	349	404	229
依　頼　計		2,807	2,792	2,272	1,831	1,918	1,493

5．ILL（図書館間相互協力）現物貸借冊数

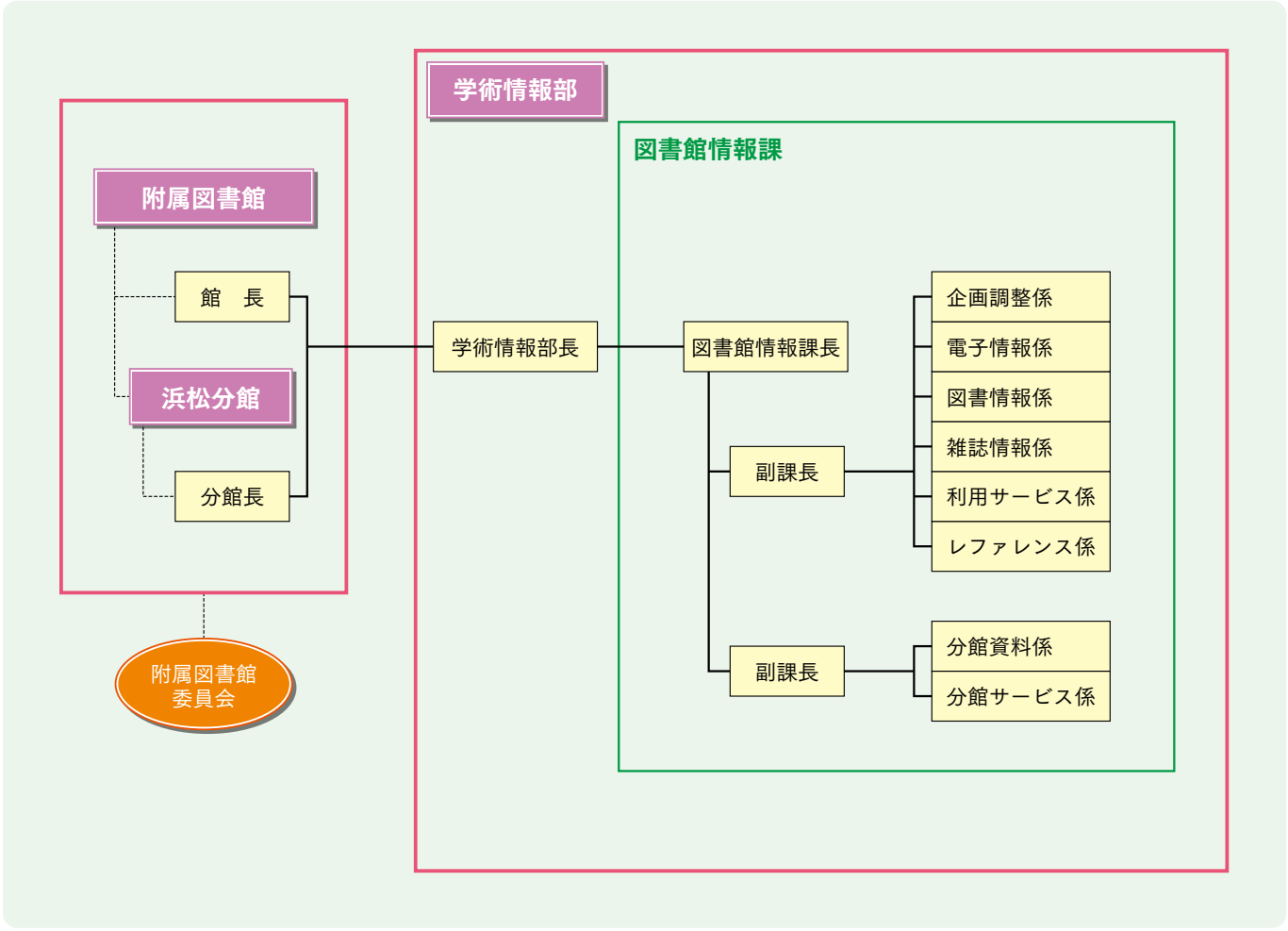
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
貸出	本　　館	1,184	1,097	1,031	987	1,092	890
	浜松分館	95	90	101	151	183	165
貸　出　計		1,279	1,187	1,132	1,138	1,275	1,055
借受	本　　館	779	812	876	923	665	766
	浜松分館	82	69	73	77	63	67
借　受　計		861	881	949	1,000	728	833

6．セミナー参加人数

		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
本館	図書館利用セミナー（ベーシック編）	42	1,245	41	1,221	40	1,182	35	1,181	36	1,209
	図書館利用セミナー（ベーシック編）大学院生向け	3	49	3	52	2	54	2	37	2	31
	図書館利用セミナー（アドバンス編）	30	694	28	689	29	663	30	665	28	646
	図書館利用セミナー（後学期）	－	－	－	－	－	－	2	36	5	186
	データベース講習会	4	61	7	138	8	215	8	267	6	169
浜松分館	図書館利用セミナー（ベーシック編）	13	744	15	732	16	792	14	789	27	793
	図書館利用セミナー（アドバンス編）	－	－	－	－	－	－	－	－	1	7
	データベース講習会	3	56	6	67	4	54	4	63	5	77

組 織 機 構

1．機構図・職員配置　☆令和元年７月１日現在



2．附属図書館委員会委員　☆平成31年度

所　属	職　名	氏　名	備　考
館長（農学部）	教　授	澤田　均	委員長
浜松分館長（工学領域）	准教授	河本　映	
人文社会科学部	教　授	南　富鎭	広報委員会委員
〃	教　授	上藤一郎	
教育学部	准教授	米原　優	
〃	准教授	長谷川慶岳	
情報学部	教　授	Sheftall M.G	
〃	准教授	原田伸一朗	
理学部	教　授	山崎昌一	情報基盤センター運営委員会委員
〃	准教授	山中正道	
工学部	教　授	石原　進	
〃	准教授	岡島いづみ	
農学部	教　授	平井浩文	
〃	教　授	切岩祥和	
大学教育センター	講　師	松家由美子	
事務局	学術情報部長	大山卓也	

沿　革

1．略年史

年　月	事　　項
1949（昭24） 6	◇静岡大学創立（文理・教育・工学の３学部）
11	◇図書館規則を制定し、中央図書館は当分の間文理学部に置き、各学部・分校の図書室は分室とし、図書館運営の協議連絡機関として新たに図書館委員会を設置
12	◇文理学部図書館長が中央図書館長併任（中央図書館職員は事務長１、係員２）
1951（昭26） 4	◇県立農科大学が農学部（磐田）となり、図書館分室を設ける
	◇同上分室建築工事竣工
1952（昭27） 4	◇教育学部三島教場の図書館分室を廃止し、教育学部（静岡）分室に統合
1955（昭30） 4	◇教育学部島田分校の図書館分室を廃止し、教育学部（静岡）分室に統合
1958（昭33） 12	◇中央図書館長選考規則を制定
1959（昭34） 9	◇中央図書館・分室を合わせて、附属図書館と改称 工・農・教育学部浜松分校に各分館を設置 事務機構は事務長１、係長３、係員７となる
1965（昭40） 3	◇教育学部浜松分校分館を廃止
	◇教養部西部教場（浜松）に教養部西部分室を設置
	◇附属図書館長が評議会の構成員となる
1966（昭41） 4	◇工学部分館を浜松分館と改称
10	◇附属図書館で教養課程指定図書制度を実施
1967（昭42） 4	◇教養部の大谷地区移転に伴い、臨時図書室（約5,000冊）開設
1968（昭43） 3	◇大谷地区に附属図書館の新館（RC-５ 4,535㎡）が竣工
4	◇教養部西部分室を廃止し、本館に統合
9	◇附属図書館大谷地区に移転
1970（昭45） 1	◇附属図書館の広報誌「図書館通信」を創刊
1972（昭47） 3	◇浜松分館の新館（RC-２ 1,471㎡）が竣工
1973（昭48） 4	◇農学部の大谷地区移転に伴い、農学部分館を廃止し、本館に統合
	◇参考調査係を設置し、４係となる
1977（昭52） 4	◇部課制を実施するとともに受入係を設置、２課５係となる
1978（昭53） 3	◇本館増築（RC-７ 3,061㎡）竣工
1979（昭54） 11	◇本館の時間外延長開館（月～金 20:45、土 16:45まで）を実施
1980（昭55） 4	◇大谷地区各部局の自然系外国雑誌（149タイトル）本館に集中
1982（昭57） 3	◇本館にブックディテクションシステム装置導入
1983（昭58） 3	◇浜松分館増築（RC-２ 1,035㎡）竣工
6	◇浜松分館の時間外延長開館（月～金 20:00、土 17:00まで）を実施
	◇浜松地区自然系外国雑誌（279タイトル）分館に集中
1984（昭59） 1	◇整理課に図書館専門員を配置
3	◇本館の耐震補強工事竣工
	◇本館書庫増築（669㎡）竣工
1986（昭61） 11	◇図書館業務用電子計算機（HITAC　L470Xシステム）導入
1987（昭62） 6	◇図書館業務の電算化に対応するため、事務組織を変更 整理課受入係・整理係を廃止して和書係・洋書係とし、新たに学術情報係を設置、２課６係となる
1988（昭63） 4	◇「国立大学および国立短期大学の事務局等の部及び課に関する訓令」の一部改正に伴い、事務部の名称変更
6	◇利用者用コンピュータ端末による図書検索開始（開架全図書及び４月以降の新規受入図書）
1990（平２） 3	◇本館視聴覚コーナー（４階）を開設
5	◇情報処理センターとの協力により、学内LANを利用したオンライン学内図書検索システム開始
10	◇本館外国雑誌閲覧室（３階）に無人入退館管理システムを設置、24時間利用可能となる
1991（平３） 3	◇本館空調設備工事施工（５階）
4	◇静岡県公共図書館等の資料相互貸借に関する協定に加盟
1992（平４） 1	◇本館空調設備工事施工（３、４階）
5	◇完全週休２日制実施に伴う土曜半日（午前）開館
1995（平７） 5	◇附属図書館のホームページを開設
1996（平８） 3	◇本館地方資料室を移転し、第２閲覧室に模様替
4	◇本館及び浜松分館土曜全日開館実施
10	◇創立50周年記念誌編集室開設（1999年迄）
1997（平９） 10	◇本館視聴覚室を改修し、SCSスタジオ開設
11	◇静岡県大学図書館協議会設立、加盟
	◇「幕末・明治期古写真等資料展」開催
1998（平10） 3	◇CD-ROMサーバ導入
	◇浜松分館にブックディテクションシステム装置導入
7	◇本館第２閲覧室（ハーベストルーム）にパソコン18台を設置
10	◇事務再編に伴い、事務組織を変更 和書係・洋書係を廃止して資料受入係・目録情報係とし、情報管理課学術情報係をシステム管理係と改称して情報サービス課に所属
1999（平11） 1	◇本館書庫入庫時間延長

年　月	事　　項
	◇「幕末・明治期肖像写真展」開催
3	◇浜松分館ＡＶルーム開設
5	◇博士学位論文要旨のホームページ公開
9	◇国際放送視聴コーナー開設
11	◇「写真展 躍動する静岡大学の50年」開催
2000（平12） 4	◇本館開館時間変更（月～金 ９:00～22:00、土 11:00～19:00）（試行）
	◇浜松分館自動貸出返却装置導入
	◇本館新入生セミナーで「附属図書館利用セミナー」実施（試行）
2001（平13） 3	◇本館自動貸出返却装置導入
4	◇本館開館時間変更（月～金 ９:00～22:00、土 11:00～19:00）
	◇浜松分館開館時間変更（月～金 ９:00～21:00、土 ９:00～17:00）（試行）
	◇本館・浜松分館新入生セミナーで「附属図書館利用セミナー」実施（試行）
10	◇利用学生モニターの設置
11	◇図書館総合整備計画（第一次）－「知と情報のコーディネーター」へ向けて－の策定
2002（平14） 2	◇図書館業務用システム（NTTデータ九州 NALIS）導入
3	◇大学閲覧室の閲覧机・椅子の更新および閲覧室床カーペットの張替え等学習環境の整備
4	◇図書館利用セミナーの実施（必修科目として正規の単元化）
10	◇日曜・祝日開館及び土曜時間延長の本格実施
2003（平15） 2	◇本館正面玄関の改修
4	◇学外者への館外貸出サービスを開始
	◇浜松分館平日夜間開館時間を１時間延長
2004（平16） 4	◇法人化に伴い、附属図書館事務部は新設の学術情報部として統合 図書館関係２課（情報管理課･情報サービス課）の組織内変更はなし
2005（平17） 1	◇OBオフィス開設
6	◇公開イベント「のぞいてみよう大学の図書館」開催
10	◇課・係制からチーム･スタッフ制へ移行 図書館情報チームとなり、３スタッフ（図書館マネジメントスタッフ、学術資料スタッフ、利用サービススタッフ）で構成
2006（平18） 4	◇図書館情報チームの改組 研究協力・情報図書チームとなり、２課長から１課長２副課長となる
	◇静岡県立中央図書館との資料相互搬送開始
6	◇おうだんくん（県内横断検索システム）へ参加
2007（平19） 2	◇図書館業務用システム更新
3	◇自動貸出装置増設
8	◇地域目録講習会（図書コース）開催
9	◇本館第２閲覧室（ハーベストルーム）拡張
	◇「静大図書館 NewsLetter」創刊
11	◇写真展「写真でつづる静岡大学の軌跡」開催
2008（平20） 4	◇静岡大学学術リポジトリ（SURE）本公開
	◇事務再編に伴い、チーム名変更（研究協力・情報図書チームから図書館チームへ）
8	◇附属図書館外部評価委員会開催
2009（平21） 3	◇浜松分館旧機械室に電動書架設置
4	◇入退館管理システム導入
6	◇ライブラリーセミナー「蘇る安部七騎」開催
2010（平22） 4	◇本館リニューアルオープン
2011（平23） 7	◇事務再編に伴い、チーム・スタッフ制から課・係制へ移行 図書館情報課となり、８係（企画調整係、電子情報係、図書情報係、雑誌情報係、利用サービス係、レファレンス係、分館資料係、分館サービス係）となる。
	◇浜松分館改修工事竣工
2012（平24） 2	◇図書館業務用システム（NTTデータ九州 NALIS）更新
4	◇本館・浜松分館開館時間の変更（休日の試験対応期間9：00～21：00）（試行）
6	◇学習支援促進のための三大学連携事業に関する協定を締結（金沢大学、静岡大学、名古屋大学）
2013（平25） 3	◇本館外壁改修工事竣工
4	◇静大ID（学認対応）によるサービス開始（学外からの電子ジャーナル利用、myLibrary）
5	◇附属図書館外部評価委員会開催
2014（平26） 8	◇地域連携プロジェクト「キッズチャレンジ静大図書館」を開催（12月にも開催）
10	◇浜松分館リニューアルオープン（Ⅰ期）
12	◇「静岡大学附属図書館の使命」策定
2015（平27） 8	◇地域目録講習会（図書コース）開催
2017（平29） 2	◇図書館業務用システム（NTTデータ九州 NALIS）更新
2018（平30） 1	◇静岡大学学術リポジトリ（SURE）を国立情報学研究所共用リポジトリサービス（JAIRO Cloud）に移行
6	◇浜松分館リニューアルオープン（Ⅱ期）

2. 歴代館長・分館長

	氏　　名	所　　属	在 任 期 間
附属図書館長	富田文雄	文理学部	1949.12.12～1952.12.11
	大室貞一郎	〃	1952.12.12～1954.12.11
	河内清	〃	1954.12.12～1958.12.11
	山田良之助	学長（事務取扱）	1958.12.12～1959.8.31
	山岸五平	教育学部	1959.9.1～1961.8.31
	島谷俊三	〃	1961.9.1～1963.8.31
	宇野慶三郎	教養部	1963.9.1～1965.6.30
	内藤晃	人文学部	1965.7.1～1967.6.30
	兼岩芳夫	農学部	1967.7.1～1969.6.30
	天野佳人	人文学部	1969.7.1～1971.6.30
	石塚経雄	教養部	1971.7.1～1973.6.30
	上野実朗	理学部	1973.7.1～1975.6.30
	中沢正寿	教育学部	1975.7.1～1977.6.30
	渡辺安夫	教養部	1977.7.1～1979.6.30
	豊川卓爾	人文学部	1979.7.1～1981.6.30
	細井寅三	農学部	1981.7.1～1983.6.30
	大月卓郎	工学部	1983.7.1～1985.6.30
	中村博保	教育学部	1985.7.1～1987.6.30
	森口治生	理学部	1987.7.1～1989.6.30
	水野秀夫	農学部	1989.7.1～1991.6.30
	吉本健一	教養部	1991.7.1～1993.6.30
	小澤康彦	人文学部	1993.7.1～1995.6.30
	久保靖	工学部	1995.7.1～1997.6.30
	杉田泰一	教育学部	1997.7.1～1999.6.30
	浅井哲也	理学部	1999.7.1～2001.3.31
	大江泰一郎	人文学部	2001.4.1～2003.3.31
	番場公雄	農学部	2003.4.1～2005.3.31
	小和田哲男	教育学部	2005.4.1～2007.3.31
	加藤憲二	理学部	2007.4.1～2013.3.31
	髙松良幸	情報学研究科	2013.4.1～2015.3.31
	澤田均	農学領域	2015.4.1～

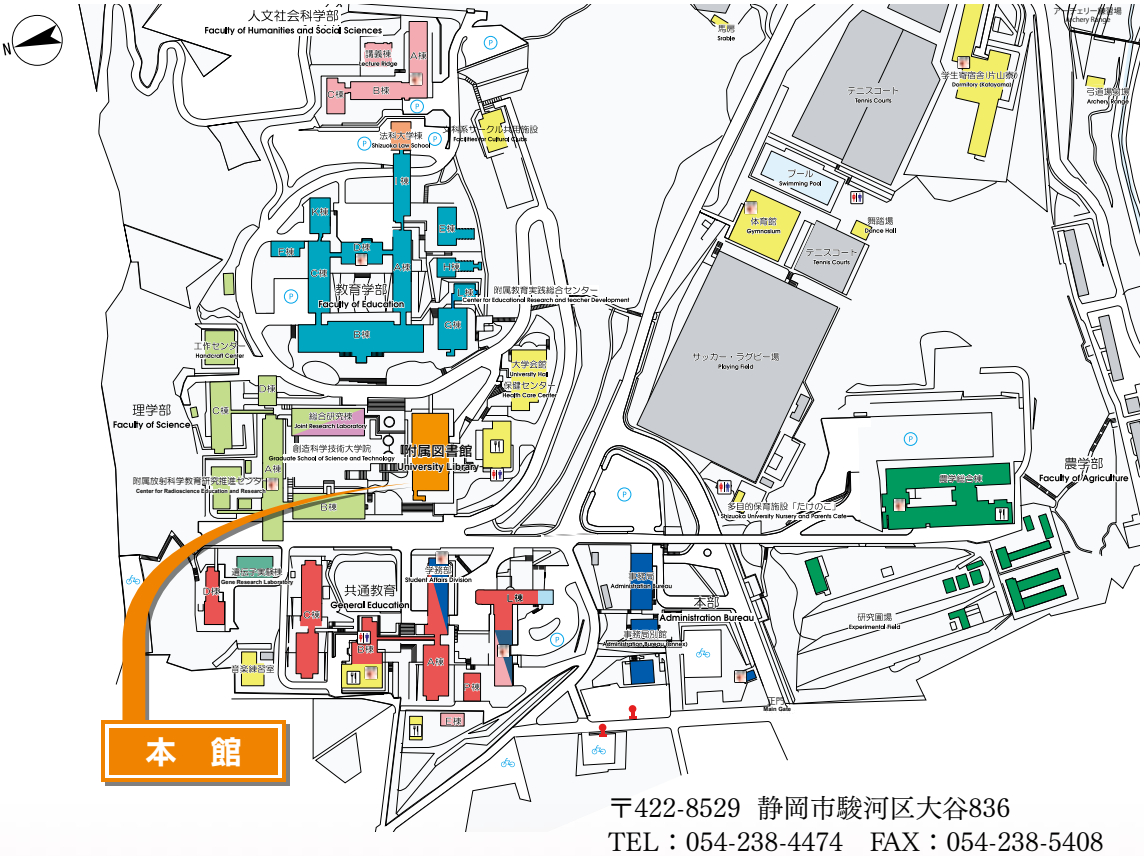
	氏　　名	所　　属	在 任 期 間
浜松分館長	市川常男	工学部	1965.4.1～1976.3.31
	松本欣二	〃（事務取扱）	1976.4.1～1976.4.30
	井本文夫	〃	1976.5.1～1980.3.31
	大月卓郎	〃	1980.4.1～1983.6.30
	藤田郁夫	〃	1983.7.1～1987.6.30
	大山襄	〃	1987.7.1～1989.6.30
	藤田郁夫	〃	1989.7.1～1991.6.30
	清水孝	〃	1991.7.1～1995.6.30
	石井仁	〃	1995.7.1～1997.6.30
	渥美邦夫	〃	1997.7.1～1999.3.31
	岡村静致	〃	1999.4.1～2001.3.31
	鎌田哲宏	情報学部	2001.4.1～2003.3.31
	市川朗	工学部	2003.4.1～2004.3.31
	野飼享	〃	2004.4.1～2005.3.31
	雨宮正彦	情報学部	2005.4.1～2009.3.31
	中島伸治	工学部	2009.4.1～2011.3.31
	髙松良幸	情報学部	2011.4.1～2013.3.31
	梅本宏信	工学研究科	2013.4.1～2015.3.31
	髙松良幸	情報学領域	2015.4.1～2019.3.31
	河本映	工学領域	2019.4.1～

交通案内・図書館位置図

静岡キャンパス交通案内

1．JR 静岡駅北口のしずてつジャストラインバス８B 番乗り場から美和大谷線「静岡大学」行き、「東大谷」（静岡大学経由）行き、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」（静岡大学経由）行きに乗車し「静岡大学」又は「静大片山」で下車。
美和大谷線「東大谷」（静岡大学を経由しないもの）行きに乗車した場合は、「片山」で下車。（所要時間 25 分、1時間に5～7本運行）
2．JR 静岡駅からタクシーで約 15 分

静岡キャンパスマップ

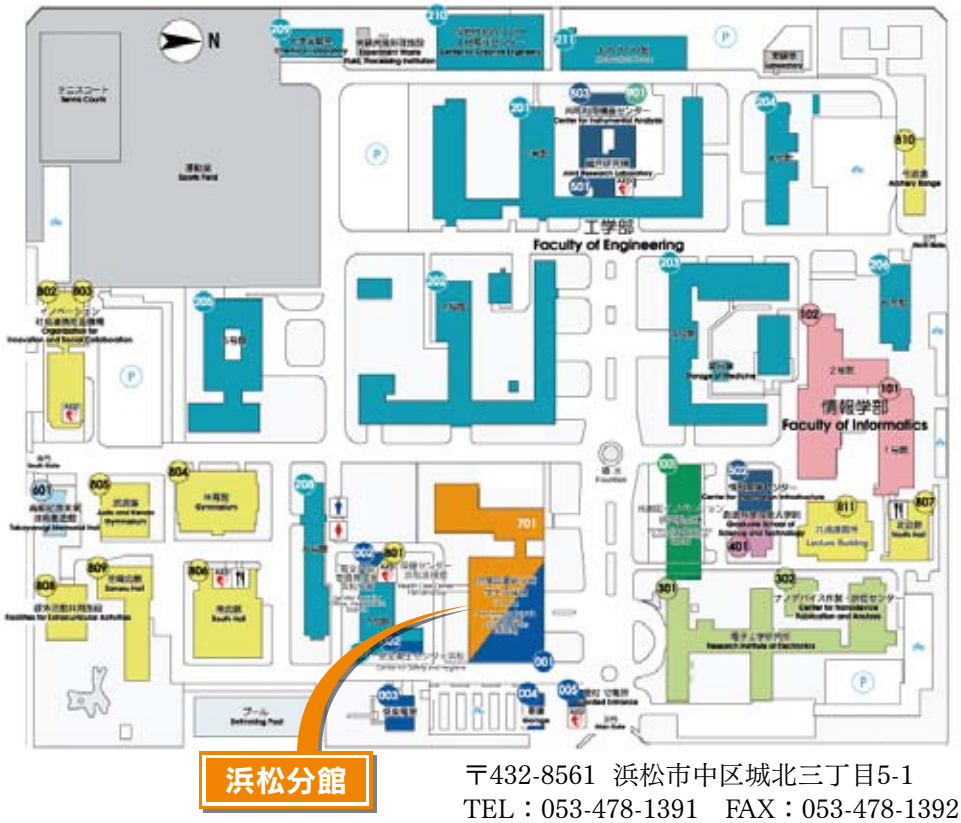


〒422-8529　静岡市駿河区大谷836
TEL：054-238-4474　FAX：054-238-5408
E-mail：tosyokan@adb.shizuoka.ac.jp

浜松キャンパス交通案内

1．JR 浜松駅北口バスターミナルの遠州鉄道バス 15 番又は 16 番乗り場から乗車し、「静岡大学」下車
（所要時間約 20 分、1 時間に 10 本程度運行）
2．JR 浜松駅からタクシーで約 10 分

浜松キャンパスマップ



〒432-8561　浜松市中区城北三丁目5-1
TEL：053-478-1391　FAX：053-478-1392
E-mail：lib-hama＠adb.shizuoka.ac.jp

紙媒体とデジタル資料

附属図書館浜松分館長
河　本　　映

浜松分館の第２期改築工事が完成してから１年が経ち、利用スタイルもすっかり定着してきたようです。今の２年生が入学したころはほとんどの図書が書庫に収まっていたため、大学の図書館にはあまり本がないと思い込んでいた学生もいたようですが、雑誌・開架図書閲覧室の再開により、ようやく図書館本来の姿にもどることができました。施設整備にあたってご支援いただきました方々には、改めてお礼申し上げます。

第１期工事で設けられたグループワークエリアは、課題について話し合う学生でにぎわっています。改築工事の間、臨時に開架図書を収めていた書庫には幾分空きスペースができましたので、しばらくは余裕をもって資料を受け入れることができそうです。

浜松キャンパスは旧制浜松工業専門学校が母体で、もともとは工学系だけのキャンパスでした。その後文工融合を目指した情報学部が設置され、文科系の教育研究がなされるようになりました。このような背景から、分館蔵書のおよそ２/３が自然科学・技術系となっています。古い蔵書も引き継いでおり、大正末から昭和初期の本・学術論文などを手にすることができます。以前は、戦時中に機密指定され、「閲覧禁止」のラベルが貼られた本を目にすることもありましたが、今は整理されてしまったかもしれません。

このように100年前の本をそのまま手に取って見られるのは、紙媒体ならではのことと言えるでしょう。現在では紙媒体の重要性が相対的に低下しており、実際研究面では、論文が紙媒体で発行されることがほとんどなくなりました。保管や検索が便利になった反面、何もしなくても届いた紙媒体とは違って、わざわざサーバにログインしてダウンロードしなければなりません。とりあえず拾い読みして後で興味のあるものだけじっくり、というのも難しくなりました。今集めた電子ファイルが10年～20年先にまだ読めるかどうかも心配です。このような事情は、そのまま図書館のデジタル資料にもあてはまることでしょう。これからの時代、研究室でも図書館でも、何をどう保存していくか考えておかなければならないように思います。

静岡大学附属図書館概要　2019

令和元年７月発行

編集・発行　静岡大学附属図書館

〒422-8529　静岡市駿河区大谷８３６
Tel：054−238−4474
Fax：054−238−5408
URL　https://www.lib.shizuoka.ac.jp/